

11月27日は小川和紙の日

# 「和紙のふるさと小川町」をもっと身近に！

去る平成29年6月定例会において、小川和紙の日。町は埼玉伝統工芸会館議会も会場の一角でクイズコーナー好評の声をいただきました。今回はそ

議員提出議案として11月27日を「小川和紙の日」に制定しました。制定後に迎えた初めての会場に、町民を対象とした「小川和紙フェスティバル」(11月25日～27日の3日間)を開催。「和紙博士になろう」を展開しました。全問正解者には小川和紙製の認定証を贈呈。参加者からんなフェスティバルの会場で、来場した町民の皆さんを対象にインタビューしました！

フェスティバル前日の朝には、議員有志でチラシ配りを行ないました！



細川紙製の議員バッジ



当日の開会セレモニーには、議員が揃いのバッジを付けて参加しました。今後、和紙関連のイベントにはこのバッジを身に付けてPRに励みます。

第1問 和紙は、どこの国から伝わって来たかな？  
①中国 ②インド ③アメリカ



第2問 和紙原料の植物「楮」。どこの部分を使っているかな？  
①花 ②皮 ③根



第3問 ズバリ小川和紙の日はいつでしょう？

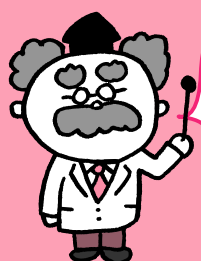


見事に全問正解!! 和紙博士の称号を獲得しました。



私たち、和紙博士に認定されました！

クイズコーナー「和紙博士」になろう！



クイズの答えは、次のページのどこかにあるよ！

「小川和紙フェスティバル」の来場者に聞きました

Q 町は、11月27日を「小川和紙の日」と制定しました。ご存知でしたか。



Q 議会だより「おがわぎかい」を読んだこと・見たことはありますか。



こ・の・際・言・わ・せ・て

- ・わしさいこう
- ・和紙サイコー
- ・せっかくのイベントなのに残念。もっと広めてもらいたかった
- ・和紙と…お酒が大好き！
- ・町民にもっとアピール・宣伝が必要だと思った
- ・もっと町民が「町」を好きになってほしいです
- ・身近な議会であってください
- ・七夕も盛大に開催している。最近では酒蔵めぐりやワイン、有機農業なども活発。応援しています
- ・高齢者の活動についてもう少しPRしてください

取材を終えて 編集委員の一言

- ・お祭りは地域賑わいの象徴です。来町者が羨み妬むその域まで、町民を巻き込む試みを期待します。(笠原規弘)
- ・今回、議会も参加した和紙フェス。認定証をもらった子供達の笑顔が最高でした。忘れないで11月27日。(田中照子)
- ・小川和紙は水を含んでも、その強さを発揮します。小川和紙の日制定をさらなるストロングポイントに。(井口亮一)
- ・取材の中で、小川和紙の日制定を評価していた方が多かったです。次回に向けて着々と周知に励みます。(高橋さゆり)
- ・伝統工芸を守り、和紙文化を継承していく事の大切さを「じっくり」「じわじわ」と住民に浸透させたいです。(島崎隆夫)
- ・正直、取材対象(町民)を見付けることに一苦労…。みんながワッシッシな笑顔になる日は遠いなあ。(高瀬 勉)